

【サトリの兵法書：処世術セミナー】

～人生を賢く生きる**叡智**を身につけよう～



『**人生の攻略本**』を手にしてみませんか？

2周目、3周目のゲームをプレイするように
人生の難易度を下げる**禁断の処世術**

こんにちは、サトリこと金山慶允です。

突然ですが、今後の人生を歩む上で、

心から安心でき、未来が必ず良くなる、という

『**確信**』が持てる【**武器**】を手にしてみませんか？？

『**人生の攻略本**』を手にしてみませんか？

大学時代に留年、その後、就活も失敗して28歳までフリーター、ようやく決まった定職も、年間休日70日以下で平均年収にも届かない底辺サラリーマン、FXの失敗で多額の借金、、、

35歳まで『もういい歳だし、俺の人生、詰んでしまったな、、、』と考えてもおかしくなかった僕の人生ですが、

人知れず持っていた【人生の攻略本】に従って行動した結果、

- ・ 会社員を退職して半年で月収10倍
- ・ そこからセミリタイヤ生活を10年以上継続
- ・ 理想の奥さんと出会って結婚
- ・ ハイクラス、ハイステージな人たちとの親交
- ・ 海外の国営テレビに何度も出演

などなど、常識的に考えると意味がわからないレベルの人生の展開を経験してきました。



アゼルバイジャンの国営テレビに出演
両国の友好について語る

『人生の攻略本』を手にしませんか？



安倍昭恵さんと福岡にて



自見元大臣が自宅へ来訪



オリンピックコーチから直接指導を受ける



サヴォイア王家の騎士叙勲晩餐会にて



イタリアサヴォイア王家のフィリベルト皇子とうちの奥さん

『人生の攻略本』を手にしてみませんか？

35歳で独立して、インターネットビジネスの世界で活動していますが、**会社設立3期目で売上1億円を突破**したり、

国内外のハイクラス、ハイステージな方たち（資産数千億円レベルだったり、お城に住んでいたり、世界の最高峰の領域で活動するアーティストだったり）との親交を深めたり、

日本に数名しかいない**最上位の騎士：グランドクロス**の方とビジネスパートナーとして一緒に勉強会を主宰したりもしましたが

ビジネスで売上や規模の拡大に走ることなく、自分自身の露出も最低限に抑え（商業出版の話なども見送り）、**自由で気ままなセミリタイヤ生活**を続けながら、自分の人生を充実させることに集中してきました。

今の僕は、一般的な知名度という点では、ほぼゼロで、プライバシーを気にするような場面もなく、自分の好きなことだけに思う存分没頭できる自由な時間や経済的な余裕もあり、

騎士階級の方や、お医者さん、僧侶、弁護士、学者さんなどなどといった人たちに『**メンター**』として、人生や『**生き方**』について指導したりもしつつ、

趣味のギターの練習と、長生き・健康のためのボディメイク習慣に明け暮れる幸せな日々を送っています（アラフィフですが**体脂肪率は現在7%台**です）。

『**人生の攻略本**』を手に見してみませんか？

このレターは、以下のことに当てはまる方に向けて書いています。

- ・ 未来に対して漠然とした不安が消えない
- ・ 家族や大切な人を守る力が欲しい
- ・ できるだけ賢く生きていきたい
- ・ この10年を振り返って
確実に良くなっているという実感が薄い
- ・ 要領よく生きたい。要領のいい人間になりたい
- ・ ゲームは攻略本や攻略情報を見てサクサク進めたい
- ・ できるだけ省エネで無駄を省いて生きていきたい
- ・ 移り変わりの激しい世の中の動きに対して
後手後手になってしまっていると感じる

一つでも当てはまるものがあるのなら、
この先を読み進めてみて、損はしないはずです。

時間を確保して、少々お付き合いください。

『人生の攻略本』を手にしませんか？

もういい歳だし、人生詰んでしまったな、 なんて思ってしまったってませんか？

ちゃんと真実を語る人ってなかなかいないのであえて断言します。

人生は『不公平』です。

正面切って言う人があまりいないのは、
世間体を考えてのことでしょうか。

でも、これまでの人間の歴史を見ても、いや、歴史を見るまでもなく、地球人類、いや、日本という国だけを見てもわかります。

同じ人間なのに、
なぜここまで人生の境遇に差がついてしまうのでしょうか？

もちろん、持って生まれたもの、家系や才能（素質）、
遺伝や血筋、生まれ育った環境などなど、本人に
選べない要素でついでしまう『差』というのがあります。

でも、実際のところ、同じような環境に生まれ育ち、同じような
キャリアを歩んでいく中でも『格差』というものができます。

僕は昔から、その『格差』がどこから生まれるのか？
そこが知りたくて探究を続けてきました。

『人生の攻略本』を手に見してみませんか？

『親ガチャ』なんて言葉が流行ってしまうくらい、生まれついた境遇の差が人生を決める要素も大きいですが、どうやらそれだけではないようです。

世の中には不遇な境遇からスタートして、身を立てて、世間一般で言われるような『成功』を手にする人もいます。

その明暗を分けるのが何なのか？を知りたくて、いや、それだけにすがるって、僕は30代半ばまでの人生を過ごしてきました。

生まれも育ちも平均以下、親ががんばって私学の大学まで入れてくれたのに、就職氷河期の煽りを受けてフリーターに、、、

その後、就職したものの、35歳まで年間休日70日ほどの会社で働いて、平均年収にも届かない、、、

冷静に考えたら、

『もういい歳だし、俺の人生、詰んでしまったな、、、』

と諦めモードに入ってしまったって仕方のない状況に、10数年前の僕は生きていました。

もし、こんな状況から脱するための要素が『運』だけだったとしたら、もう、絶望しかない、、、でも諦めたくなかったんです。

『人生の攻略本』を手に見してみませんか？

人生の境遇の**格差**を生み出している**秘密**とは？

学生時代や会社員時代の僕は、その『**答え**』を求めて、
『**あるもの**』を貪るように読みふけていました。

それは『**古代中国モノの歴史小説**』です。

現実世界の中にはさまざまな人たちがいますが、中国の歴史の中にはその比じゃないくらいたくさん人間群像が登場してきます。

中国人の名前は、日本人には馴染みのない漢字表記で、
読んでいて誰が誰だったか混乱してくるのですが、

それでもその一人ひとりが、かつて地球上にリアルに存在し、
生々しく生きていたひとりの人間だったんです。

中国古代史の中では、おびただしい数の人間群像があって、
その一人ひとりがそれぞれの人生を歩んでいます。

『人生』というものの膨大な【**事例**】に触れられるのです。

いろんな人のいろんな人生があります。

『**人生の攻略本**』を手にしませんか？

才能に恵まれ、華々しく歴史に登場したかと思えば、他人から恨みを買って、言葉にするのも躊躇われるくらい悲惨な最期を遂げる人、

奴隷の出身から、姉が皇帝に見初められたことをきっかけに出世しだし、大帝国の大將軍にまで上り詰めた人、

名門の生まれなのにその家が没落し、生涯を『復讐』のためだけに生きた人、

こういった膨大な人間群像のそれぞれの『人生』に触れていくと、僕が探究してきた『秘密』に迫れるような感覚がありました。

古代中国にしても、現代日本にしても、明らかに

『この人、人生2周目か3周目だろ、、？』

と感じさせるような、他人とは『異質』な人生を歩む人がいます。

どう考えても、明らかに不公平だし、『いいとこどり』すぎる人生を歩む人です。

古代中国の歴史の中でも、同じ時代の一国の宰相なのに、

ある人は君主に疎まれて、恨みを抱きながら非業の死を遂げ、ある人は美人の奥さんをももらった上、宰相を引退した後は商売で大金持ちになって天寿を全うしてたりします。

『人生の攻略本』を手に見してみませんか？

実は人生には『攻略本』があった

結論から言うと、そういうことになります。

この『人生の攻略本』のことを、
【処世術】とここでは表現することにします。

処世術、と聞いて何をイメージしますか？？

検索すると、ビジネスパーソン向けの記事がずらずらと表示されるし、書店には『サラリーマン処世術』みたいな本が並んでたりもします。

でも、ここで僕が語るのは、そういう低いレベルでの話ではなく、文字通り、『人生の攻略本』としての処世術です。

処世術：身の施し方の方針や具体的な方策、であり、

人生を賢く歩んでいくための道標となるもの、です。

これについて説明していきます。

『人生の攻略本』を手に見てみませんか？

人生のコンテクスト 哲学・戦略・処世術

歴史にしても、ニュースにしても、
ネットで調べた時に出てくる情報にしても、

基本は『コンテンツ』、
つまり目に見える【結果】の部分しか出てきません。

誰がいつ、どういう行動をとった。
その結果、こういうことが起こった。

みたいな情報です。

でも重要なのは、
その背景にあるコンテクスト：文脈（背景情報）の部分です。

人生のコンテクスト、と表現できるものに、

- ・ **哲学**（その人が人生で一番大事にする価値観）
- ・ **戦略**（その人の行動を決める大きな方針）
- ・ **処世術**（それぞれの状況・場面の中での身の施し方）

があります。

『人生の攻略本』を手に見てみませんか？

まず、土台に一番重要な『哲学』があって、『哲学』に基づいて『戦略』があり、『戦略』に基づいて『処世術』があります。

先ほど出てきた『ビジネスパーソンとしての処世術』や『サラリーマン処世術』というのは、

土台の部分がすっぽり抜け落ちた
うわべだけの薄い情報に過ぎません。

ですが、世の中、その最上部の『処世術』すら身につけていない人がほとんどだったりします。

これは日本という国が長らく
平和的に長期的に経済発展し続けたからだと思います。

処世術というものが恐らく一番進化・発展したのは
中国古代の春秋・戦国時代のことです。
人気漫画キングダムの舞台は戦国時代の後期ですね。

戦国時代って、日本の歴史の中にも出てきますが、せいぜい
数十年くらいの戦乱、国が乱れていた時代のことを言います。

中国の春秋・戦国時代はどちらも国が乱れて
戦乱の世の中になっていた時代ですが、

春秋時代が始まったのが紀元前771年、秦の始皇帝が
中国全土を統一し、戦国時代が終わったのが紀元前221年。

『人生の攻略本』を手に見してみませんか？

なんと、**550年も戦乱の世の中が続いていた**んです。

550年続く混迷の時代、、、

30歳で子を産むとしても、
18代か19代くらい代替わりしちゃいます。

日本の歴史で一番長い平安時代でも400年なのに、王朝がマトモに機能せずに乱世が延々と続いた時代が550年もあった、なんて

中国やべえ、という感想しか出てきませんね。。。

話がそれましたが、『**処世術**』はそういう
『混迷の時代』にこそ価値を持ちます。

先行き不透明で、自分の行動次第で自分の未来が大きく変わってしまうのだから、細心の注意を払って、自分の身の振り方を決めていく必要があるワケですね。

それに対して、最近までの日本は、どんなにダメダメな選択を繰り返しても、それなりに安心・安全が保証される平和な世の中だったので、

『**処世術**』がなくても、なんとか生きてこれたワケです。

『**人生の攻略本**』を手に見してみませんか？

文字通り、人生を棒に振ってしまうことに、、、

処世術や戦略、哲学なしに人生を歩むと
どうなってしまうと思いますか??

歴史書の中では、
そういう人物についての記載はほとんどありません。

なぜかという、そんな『**間抜け**』な人間は、早い段階で脱落し、
歴史に名を残すことなど到底不可能だから、です。

哲学も、戦略も、処世術もなければ、

**運任せ、行き当たりばったり、経験が積み上がっていかない、
人生の時間を重ねても賢くなっていかない、**

ホントに、サイコロを振って選択を決めた方がまだマシ、
というような人生を歩むことになってしまいます。

反対に、哲学があり、戦略があり、その上に処世術が
積み上がった人は、『**時間**』を味方につけることができます。

長期視点で物事を積み上げていくことができるからです。

『**人生の攻略本**』を手に見てみませんか？

サトリはなぜ**底辺**から抜け出せたのか？

上述した通り、僕の前半生は『**人生詰んだ**』と考えてもおかしくないような境遇を歩んできました。

そんな僕が、35歳にして突然ブレイクし、会社を退職し、半年後には月収が10倍になり、そのままセミリタイヤ生活に入り10年以上継続、

理想の女性と出会って結婚、会社員時代の10倍の家賃の家に住んだり、毎月のようにビジネスクラスで海外を飛び回ったり、



東京で住んでいた会社員時代の家賃の10倍の家

『**人生の攻略本**』を手に見してみませんか？



現在は、神戸でオフィスと自宅、合わせて470平米の家に住んでいます



起業家の友人たちと旅行した冬のドイツ（ミュンヘン）と夏のイタリア（ミラノ）



レーガン元大統領とゴルバチョフ元書記長が歴史的な会談をした
アイスランド・レイキャビクのホフディハウス 奥さんと2回目の新婚旅行にて

『人生の攻略本』を手にしてみませんか？



民間外交の一環として、宮古島市長とアゼルバイジャン駐日大使をお繋ぎしたり、スーダンにて駐スーダン日本大使館に、元駐日スーダン大使の方をお連れしたりしました

日本に数名しかいないグランドクロス（某欧州の由緒正しい王家に連なる最上位の騎士 女性なので大十字貴婦人というらしい 笑）の方とビジネスパートナーになったり、

普通に考えたら『おかしいだろ？それ』ってツッコミたくなるような人生を歩むようになりました。

その原点はすべて、僕の『**処世術**』にあるんです。

僕は学生時代～社会人の10数年ほどで、自分の哲学、戦略、処世術を磨き上げたので、不遇の時代であっても、着実に、

『積み上げ』効果のあることに自分のリソースを注げました。

『人生の攻略本』を手にしませんか？

せつかく、4人兄弟の中で僕だけが大学を卒業させてもらったのに、会社員としてマトモな就職ができず、

年間休日70日ほどの会社で働いて、平均年収にも届かないような職場で上司からの**パワハラ**に悩まされながらも、

虎視眈々と自分の人生を切り拓くための準備を進められたんです。

処世術は、『人生の攻略本』という表現をしましたが、僕は攻略本を読んで、

この先の人生で何が大事になってくるのか？がわかっていたし、

今は**不遇**でも、

この先の人生に何が待っているのか？もわかっていたので、

絶望に押し潰されることなく、**2周目、3周目の人生を歩む**ように心に未来への希望と確信を持ち自分の人生を歩んで来れたんです。

サトリの究極のモデリング対象とは？

僕は今、コーチとしての活動も行っていて、クライアントの人たちに、欲しい結果があるなら、それを実現している人を『モデリング』しよう、ってことをよく話しています。

『人生の攻略本』を手にしませんか？

その僕が、

『この人の人生、いいとこどりだらけで完璧だよ』

と評する人がいます。

それが、項羽と劉邦の時代、秦が滅び、漢帝国が樹立するときに、劉邦の軍師（メンター）として活躍した張良子房という人物です。

中国の歴史の中で『軍師』といえ、張良よりも400年ほど後の時代、三国志に登場する諸葛亮孔明が有名（人気）ですが、

孔明と張良、それぞれが自分の人生で成し遂げたことを比べてみると、改めて張良という人間の異常性がよくわかります。

孔明は、劉備に仕えました。劉備は悲願であった漢帝国の再建は叶わず、志なかばで孔明に後を託して亡くなりました。

そして孔明は劉備から託された悲願を成就させるため、身を粉にして働きますが、最終的に念願叶わず、過労死してしまいます。

日本で一番人気の軍師、諸葛孔明は過労死で人生を終えたのです。

張良は、秦に滅ぼされた韓という国の宰相の息子です。

秦への恨みがあったので、若かりし頃（20代）に秦の始皇帝の暗殺を企て、あと一歩、というところで失敗してしまいます。

『人生の攻略本』を手に見てみませんか？

始皇帝が亡くなった後の混乱の中でたくさんの群雄が出てきた中、劉邦という人間を見初め、彼のメンター：コーチ（軍師）として関わるようになり（恐らく劉邦の方が20歳近く年上）、

結果、劉邦に天下を取らせることに成功しました。

劉邦という人間は、**中国史上（というか、世界史上）初めて、農民からスタートして皇帝にまでなった人物**です。

そして、漢帝国が成立するタイミングで、自分はさっさと引退（リタイヤ）し、仙人のような生き方を探究しました。

漢帝国樹立後、実は忠臣の**肅清**の嵐が吹き荒れ、劉邦に協力した人たちが処刑されまくったんですが、その難を逃れただけでなく、

劉邦亡き後、手がつけられなくなった呂太后（**中国三大悪女に数えられる超怖いおばあさん**）からも信頼を得ていて、ときどきお忍びで宮中のことを相談されるような関係だったそうです。

2000年以上前の人にしては出来すぎなくらい『**いいとこどり**』の人生です。

そんな彼の人生に関する、象徴的なエピソードがあります。

『**人生の攻略本**』を手に見してみませんか？

張良も**攻略本**を片手に人生を歩んでいた

張良が秦の始皇帝暗殺に失敗し、身を隠していたある時、張良が橋の袂を通りかかると、汚い服を着た老人が自分の靴を橋の下に放り投げ、張良に向かって

「小僧、取って来い」と言いつけました。

張良は頭に来て、殴りつけようかと思いましたが、相手が老人なので我慢して靴を取って来ました。

すると老人は足を突き出して「履かせろ」と言います。

張良は呆気にとられ、混乱しました。

ですが、張良は何かを感じ取ったのか、
「この爺さんに最後まで付き合おう」と考え、

跪いて老人に靴を履かせました。

老人は笑って去って行きましたが、去り際に、

「お前に教えることがある。5日後の朝にここに来い」

と言いました。

5日後の朝、日が出てから張良が約束の場所に行くと、すでに老人が来ていました。

老人は

「目上の人間と約束して遅れてくるとは何事だ」

と言い、「また5日後に來い」と言い残して去って行きました。

5日後、張良は日の出の前に家を出ましたが、

すでに老人は来ていました。

老人は再び「5日後に來い」と言い残して去って行きました。

次の5日後、張良は夜中から約束の場所で待ちました。

しばらくすると老人がやって來ました。

老人は満足気に

「おう、わしより先に來たのう。

こうでなくてはならん。その謙虚さこそが宝なのだ」

と言い、張良に**太公望の兵法書**を渡して

「これを読めば10年後には王者の軍師となるだろう」

と言い残して消え去ったそうです。

『人生の攻略本』を手にししてみませんか？

太公望は紀元前1050年くらいの時代の人物で、周という国の建国を助けた軍師です。

太公兵書は、王者の師となる道を説いた書物（攻略本）で、張良は**その攻略本を読みながら人生を歩み、実際に王者（劉邦）の師、メンターになることができた**、というワケです。

ウソみたいですが、ホントの話、
実際のエピソードの真偽はともかく、重要なのは

『**人生の攻略本**』というものは確かに存在する、という事実です。

現代社会でもっとも**賢い**人たちは？

サトリという人間の処世術を語る上で、もう一つ、
欠かせない重要な要素があります。

それは『**タルムード**』です。

タルムードとは、ユダヤの経典です。

ユダヤ人とは、現代社会でもっとも賢い人たち、と表現できます。

『**人生の攻略本**』を手に見てみませんか？

ユダヤ人やユダヤの考えに興味を持ったきっかけは**陰謀論**でした。

陰謀論について調べていく中で、ユダヤ人という現代社会で大きな力を持った人たちのことを知り、彼らのことを調べていく中で、

陰謀論者たちのロジックに不自然なものを感じ、反対に、ユダヤ人のことを調べれば調べるほど、彼らの『**賢さ**』に感心し、

彼らが大きな力を持つに至った『**背景**』を学び始めました。

20世紀以降のノーベル賞受賞者を見てみましょう。

分野別に見ると、経済で65%、医学で23%、物理で22%、化学で11%、すべての分野を平均すると、実に**20%**の受賞者がユダヤ人という事実があります。

現在、ユダヤ人は全世界に1500万人いると言われていますが、これは世界人口比でいえば、たったの**0.25%**にあたります。

この数字を見ても、彼らがいかに**特異**な存在であるかがわかります。

さらに、ユダヤ人は、人生の落伍者を出さないことでも知られています。

『**人生の攻略本**』を手に見てみませんか？

例えば、キリスト教徒でアルコール中毒者になる比率は5.9%、
対してユダヤ人は0.03%です（日本人で1.5%程度）。

彼らには**現実社会の中で、何か（成功や幸せ）を実現するための
独特なシステムが存在する**、といえるのではないのでしょうか。

ユダヤ人は『**知恵**』の民族です。

二千年にも互る迫害の歴史の中で、
ユダヤ人にとって、全世界が祖国となりました。

彼らは、生まれた時から世界全体を基準として生きているのです。

現在では、ユダヤ人にもイスラエルという国がありますが、
それはむしろ彼らの象徴と見る方が正しいのです。

誤解されやすいことかもしれませんが、『**ユダヤ人**』というのは、
特定の人種・民族を指す言葉ではありません。

現在、イスラエルでは、ユダヤ人とは『**ユダヤ人を母とする者、
またはユダヤ教徒**』だと規定しています。

『[人生の攻略本](#)』を手にししてみませんか？

だから、日本人でもユダヤ教に改宗すれば、ユダヤ人ということになるのです。

実際に日本人でユダヤ人になった人のブログを一時期、隅から隅まで貪るように読んでいました。

ユダヤ人とは、『ユダヤ的なるものを継承する人々』とでも言えばいいのかもしれませんが。

その『ユダヤ的なるもの』のエッセンスが凝縮されているのが、『タルムード』です。

ユダヤ人の家庭に生まれ育てば、ユダヤ的な教育を受けるので、その子はとても優秀な人間になることが多いです。

アメリカはユダヤ人の天国なので、アメリカで活躍してる人をよくよく調べてみると、ユダヤの生まれだった、ってことも多いです。

おもしろいのがサッカー選手のベッカム。

彼はサッカー選手として世界で一番収入の多い人間ですが、彼もユダヤの生まれだったりします。

ちなみに、ベッカムと僕は同い年（同学年）なので、2002年の日韓共同W杯で活躍してた頃から意識してて、いつか友人になろうと思ったりします（笑） いずれ実現するかと思います。

『人生の攻略本』を手に見してみませんか？

サトリの兵法書、伝授します

ちょっと直接的には関係ない方向にも話が逸れてしまいましたが、
要は、僕（サトリ）という人間は、

- ・中国古代史から学んだ処世術
- ・ユダヤの経典タルムードから学んだ処世術

を持っていたから、**底辺に近いところから**
人生を大きく転換させてこれた、ということです。

そして、今のこの時点でまだまだ『終着』ではないので、今後の
人生も、上記の『処世術』に則って歩いていく、ということです。

僕が人知れず、秘密にしながら参照している『人生の攻略本』です
が、せっかくなのでセミナーとして語ってしまおうと思ってます。

なぜ、そんな大事な『攻略本』を公開しようと思うのか？

ですが、

『別に公開しても僕は損しないから』というのと、
『なんか、急に語りたくなったから』

というのが正直なところですよ（笑）

『人生の攻略本』を手に見てみませんか？

ぶっちゃけ、それなりにセンスがないと、
ここで話すことを自分の人生に有効に活用できないとも思います。

誰にでもお手軽に実践できるものではないと思います。

でも、活用できる人の得られるリターンは計り知れないです。

どんな人が活用できるか、というと、
自分の人生に『大望』を抱いている人です。

野心を持っている、って表現でもいいですね。

とにかく、自分の人生を良くすること、幸福な人生を歩むこと
に対して貪欲で、それに必要なことはどんなことをしてでも学び、

なんとしてでも自分のものにする、と考えている人が、

今回のセミナーの内容に触れれば、
その後のその人の人生はかなり**特異**なものに変質するでしょう。

学ぶ人を選ぶ、というか。

もちろん、話として聴くだけなら、
興味深く、おもしろい話になることは保証します。

『人生の攻略本』を手に見してみませんか？

セミナーで話を聴いて、その場を楽しんでそれでOK、
って人も十分楽しんで、価格分元を取れた、

って思えるセミナーにはなると思います。

でも、僕が本当に届けたいのはその先、

**セミナー受けたその日から、人生を生きる視界が変わり、
そこを起点に、人生の歩み方自体が変わってしまう、**

そういう結果を求める人にこそ、
話を聴きにきてほしいと思っています。

と、いうことで今回のオファーです。

【サトリの兵法書：処世術セミナー】

～人生を賢く生きる**叡智**を身につけよう～

【開催日】

日時：2023年1月21日（土）14：00～18：00

定員：15名程度（ライブ参加） 5名程度（プレミアム）

開催地：神戸&オンライン

『人生の攻略本』を手に見してみませんか？

【セミナー予定内容】

- ・ **このセミナーの意義**
- ・ このセミナーを学ぶ注意点
- ・ 『賢く生きる』とは？
- ・ 天才になるよりも賢者になることを目指す

- ・ **人生に戦略を持つこと**
- ・ 哲学とは？
- ・ **戦略とは？**
- ・ 処世術とは？
- ・ **サトリの哲学**
- ・ **サトリの戦略**
- ・ **サトリの処世術**

- ・ **サトリのコンテクスト：文脈**

- ・ **中国古代史について**
- ・ **孫子の兵法書**
- ・ **呉氏の兵法書**
- ・ **商鞅：秦の天下統一の要因をつくった天才宰相**
- ・ **漫画キングダムでお馴染みの戦国時代末期の人間群像**
- ・ **戦国の四君**
- ・ **蘇秦と張儀、合従策 vs 連衡策**
天下統一の裏で火花を散らした同門のライバルの明暗
- ・ **サトリが実践してきた重要戦略『鶏口牛後』とは？**
- ・ **屈原：秦によって滅びた楚の国の悲劇の詩人**

『人生の攻略本』を手に見てみませんか？

- ・ 秦帝国を彩る天才人材たちの処世術と人生の結末
- ・ 呂不韋：博打に勝って最高権力を手にした男の末路
- ・ 李斯：優秀だったのに、なぜ最期は処刑されたのか？
- ・ 張良：サトリ的に歴史上最強の天運の持ち主
- ・ 太公兵書と王者の師：歴史上最強のコーチの仕事とは？
- ・ なぜ張良は一人勝ちできたのか？サトリ視点の分析
- ・ 衛青と霍去病：対照的なおじと甥の大將軍としての仕事
- ・ 李世民：中国史上最も平和な時代を実現した名君の叡智
- ・ ユダヤの叡智：なぜユダヤ人は成功者を輩出するのか？
- ・ タルムードとユダヤ人の習慣
- ・ 今日からお手軽に採用できるユダヤ式成功習慣
- ・ サトリのアファメーションになっている珠玉の言葉たち
- ・ アルバート・エリス：『人間性主義心理療法』
健康な人間の生き方としての9つの目標

【受講価格】

ライブ参加コース：5万円（新年会&懇親会の参加無料）

オンラインコース：5万円（ライブ参加の方がお得です）

プレミアムコース：15万円

サトリ主宰の特別グループセッション

【Hi-Efficacy Meeting】への参加権あり

『人生の攻略本』を手にしませんか？

【特別割引制度】

【The Answer】を受講中の方は、
上記価格から2万円の割引で受講することができます。

また、セミナーはオンラインコースの方へのライブ配信と同時に
録画収録もする予定です。

全コースの受講者に、後日、動画・および音声コンテンツ、
セミナー資料が配信されます。

以上が、このセミナーの全容となります。

[参加お申込はこちらからどうぞ](#)

※リンク先からお送りください

こういうテーマで深い、濃厚な話をするのは初めてなので、
僕自身、とても楽しみにしています。

セミナー会場（ライブもオンラインも）でお会いしましょう。

サトリこと、金山 慶允
『人生の攻略本』を手に見ませんか？